

No.	016	—	1039	事務事業名	都市計画総務一般事務費				公的関与	1			
PLAN	課名	都市整備課	係名	都市計画係	電話番号	089-964-4412	メールアドレス	tosiseibi@city.toon.lg.jp					
	事業区分	經常的事務事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	1 安心・安全な都市基盤の整備		主要施策	1 適正な土地利用の推進				
	事業の目的	適正な土地利用を推進し、安全・安心な住みやすいまちを目指すため。				根拠法令等	都市計画法、建築基準法、国土利用計画法、景観法など						
	事業の手段	法令に基づいた各種申請、届出等に関する事務を行い、良好な市街地形成に努めます。また、令和7年度に計画年次を迎える都市計画マスタープランの改定及び立地適正化計画の策定を行い、東温市の都市計画の方針を定めます。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	最終目標			
		法令に基づく各種申請、届出等に関する事務		事務件数		件/年	目標 450	450	450	450			
		都市計画マスタープランの改定		進捗率		%	実績 636	487					
		立地適正化計画の策定		進捗率		%	目標	5	50	100			
		実績				%		5					
DO	活動内容	① 都市計画法及びその他法令に基づく事務				④ 立地適正化計画の策定作業							
		② 都市計画審議会の運営				⑤							
		③ 都市計画マスタープランの改定作業											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	土木			費			
	直接事業費			令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	備考						
		国・県支出金		210千円	283千円	16,180千円							
		地方債		0千円	0千円	0千円							
		その他特定財源		82千円	74千円	20千円							
		一般財源		172千円	2,240千円	22,110千円							
	計(A)		464千円	2,597千円	38,310千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	2,458人	15,515千円	3,539人	22,476千円	4,500人	28,580千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		15,979千円		25,073千円		66,890千円							
一次評価者	都市計画係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	法律に基づいた申請、届出に関する事務については、事業廃止不可能です。都市計画マスタープランの改定等については、東温市の都市の将来計画を定めるため必要です。												
有効性	適正な土地利用を推進するため有効であり、類似・重複した事務事業はありません。												
達成度	申請、届出に関する事務について、志津川地区の届出件数が落ち着きつつあります。都市計画マスタープラン改定等は、令和4年度から着手し、計画年次に向け作業実施中です。												
効率性	申請、届出に関して、書類等を電子化することによる作業効率の向上等について、検討の余地があります。												
当面の課題	都市計画マスタープランの改定及び立地適正化計画の策定には、他事業計画との調整が必要であり、関係機関と十分協議する必要があります。												
改訂計画	プロジェクト会議に諮る等、関係各課の意見を聴取する機会を設け、適正な土地利用計画の策定を目指します。												
二次評価者	都市整備課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	東温市の今後20年の土地利用を左右する重要な計画であり、関係各課の意見調整や上位計画との整合を図りながら、少子高齢化や人口減少など社会的課題を踏まえた計画となるよう取り組んでください。												

No.	016	—	2016	事務事業名	住宅・建築物安全ストック形成事業	公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	------------------	------	---

PLAN	課名	都市整備課	係名	建築住宅係	電話番号	089-964-4412	メールアドレス	tosiseibi@city.toon.lg.jp						
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	平成 17 年度 ~ 期間設定なし						
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち	政策項目	1 安心・安全な都市基盤の整備	主要施策	2 安心して暮らせる市街地の整備							
	事業の目的	住宅・建築物及びその周辺の安全確保を図り、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指すため。			根拠法令等	社会資本整備総合交付金交付要綱、住宅建築物安全ストック形成事業対象要綱								
	事業の手段	住宅・建築物安全ストック形成事業の各種補助制度を推進し、住宅・建築物の安全性及び防災性の向上を図ります。			掲載計画	東温市耐震改修促進計画								
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	最終目標				
		耐震診断実施戸数	耐震診断技術者派遣及び耐震診断補助を実施した戸数		戸	目標	18	36	54	126				
						実績	13	22						
		耐震改修補助戸数	耐震改修補助を実施した戸数		戸	目標	10	20	30	50				
						実績	8	13						
ブロック塀改修補助件数	ブロック塀改修補助を実施した件数		件	目標	10	20	30	50						
				実績	10	18								
DO	活動内容	①	市民等に対して補助事業の周知を行った。(市広報、HP、ポスター等)		④									
		②	木造住宅の耐震化についての戸別訪問を実施した。		⑤									
		③	地震対策講座等による周知啓発活動を実施した。											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	土木		費					
	直接事業費			令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度予算	備考							
		国・県支出金		8,113 千円	4,881 千円	10,441 千円								
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源		2,725 千円	1,644 千円	3,483 千円								
	計(A)		10,838 千円	6,525 千円	13,924 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.866 人	5,466 千円	0.861 人	5,468 千円	0.861 人	5,468 千円							
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)		16,304 千円		11,993 千円		19,392 千円								
CHECK・ACTION	一次評価者	建築住宅係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善
	項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
	必要性	市HPや広報誌のほか、戸別訪問などを実施して事業の周知に努めているが、より広く多くの市民に周知するためには、現在の方法を改善し効果のある周知方法を考える必要があります。												
	有効性	本事業を継続し、木造住宅の耐震化及びブロック塀の安全性を向上させることにより、今後発生が予想される大地震から市民の生命及び財産の保護を図ります。												
	達成度	費用負担の問題や大地震からの時間経過に伴い、災害に備える住民意識が薄れつつあり、申請件数が伸び悩んでおり、目標とする成果に達していません。												
	効率性	瓦屋根の改修工事に係る補助制度の実施の余地があります。他市町でも同様の補助金を実施しているため、効果的な周知方法等の検討が可能です。補助金以外で多大な費用負担を必要としないため、コストは妥当であると思われます。												
	当面の課題	耐震診断・耐震改修・ブロック塀の補助制度について、市民への周知が不足しています。耐震改修については、金額が大きい工事ということもあってか、申請件数が伸び悩んでいます。瓦屋根の補助については県内で実施自治体が増えており、東温市においてもニーズの把握が必要です。												
	改革計画	耐震化に対する住民意識の向上を促すため、出前講座や戸別訪問で広く制度について周知するとともに、相談会によりそれぞれの事情等を踏まえた個別の相談ができる機会を提供します。瓦屋根の補助についても実施を検討します。												
	二次評価者	都市整備課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善
	二次評価での指摘事項	木造住宅の耐震化においては、多大な改修費用が課題となっており、耐震化の重要性を住民が十分に認識する必要があります。住民への意識啓発に積極的に取り組むとともに、住民ニーズの把握、助成制度の周知を図り、耐震化率の向上に努めてください。												

No.	016	—	2030	事務事業名	空き家再生等推進事業				公的関与	9
-----	-----	---	------	-------	------------	--	--	--	------	---

PLAN	課名	都市整備課	係名	建築住宅係	電話番号	089-964-4412		メールアドレス	tosiseibi@city.toon.lg.jp						
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	平成 27 年度 ~	期間設定なし					
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	2 良好な住環境づくりの推進		主要施策	1 良好な住環境の形成						
	事業の目的	空き家等がもたらす諸問題を把握した上で、地元役員や専門家等との協力体制により空家対策を計画的に推進し、防災性の維持・向上及び生活環境の保全を図るため。				根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法								
事業の手段	東温市空家等対策協議会における特定空家等の判断審議、空き家問題の啓発や個別相談対応、老朽危険空家の除却に対する支援等、総合的な空家対策を実施します。				掲載計画	東温市空家等対策計画									
達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	最終目標					
	老朽危険空家除却事業補助戸数(累計)	市の施策の周知度や安全性が確保できない空家等の除却状況を把握するために有効な指標であるため。			戸	目標	17	22	28	40					
		空家等に関する問題の指導回数(年間)			空家等の発生や適正管理の状況を把握するために有効な指標であるため。(新設)	件	目標	-	-	25	20				
						目標									
					実績										
DO	活動内容	① 空き家等の適正管理のため、HPによる周知及び補助制度の掲載を行った				④	空き家等に関する問題(草木等の管理、崩壊部分の撤去等)の指導を行った								
		② 老朽危険空家の除却促進のため、除却する者に対しその費用の一部を助成した				⑤									
		③ 老朽危険空家に関する補助制度を広報に掲載した													
	予算費目	会計	一般会計			費目名	土木		費						
直接事業費			令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度予算	備考									
	国・県支金		2,821 千円	2,823 千円	3,600 千円	R3及びR4年度は、空家等対策協議会の開催を見送ったため工数が少ないが、R5年度は同協議会を開催する予定であるため、工数が増加する。									
	地方債		0 千円	0 千円	0 千円										
	その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円										
	一般財源		954 千円	1,206 千円	1,760 千円										
計(A)		3,775 千円	4,029 千円	5,360 千円											
人件費(B)	正職員工数・経費	0.313 人	1,976 千円	0.245 人	1,556 千円	0.457 人	2,902 千円								
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		5,751 千円		5,585 千円		8,262 千円									
CHECK・ACTION	一次評価者	建築住宅係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実	
	項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)													
	必要性	大規模災害への備えが必要となる中、人口減少や高齢化により空き家は増加し続けており、除却・利活用を含めた適正管理に向けた住民ニーズは年々高まっています。													
	有効性	空き家問題は、市全体の住宅政策に関わる問題となってきたため、都市計画とも連動し、従来の取組内容に縛られず、発展的な取組を検討する必要があります。													
	達成度	老朽危険空家除却補助金は当初の目標どおり活用されているものの、不良空き家の相談案件は増え続けているため、目標値の上方修正や重点化の検討が必要となっています。													
	効率性	空家対策等特別措置法の改正を踏まえ、「管理不全空家」や「空家等活用促進区域」などの新たな仕組みを活用し、特定空家の状態となる前に対応していく必要があります。													
	当面の課題	従来実施してきた相談対応や適正管理指導、老朽危険空家除却事業だけでは、空き家に起因した衛生面の悪化や防災性の低下などの諸問題に対応しきれず、この要因は市全体の都市計画や住宅のあり方にも繋がっているため、最新の状況分析や目標の再設定、取組の改善・重点化が課題となります。													
改革計画	現在策定中の都市計画マスタープランにおける住宅政策との連動を図りながら、空家等対策特別措置法の改正を踏まえた取組内容の見直しを検討し、東温市空家等対策計画への反映(改訂)を図ります。														
二次評価者	都市整備課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善		
二次評価での指摘事項	空き家問題は全国的な課題であり、本市においても空き家の相談件数は年々増加しつつあります。現在策定中の都市計画マスタープランにおける住宅政策との連動を図りながら、空家等対策特別措置法の改正を踏まえた東温市空家等対策計画の見直しを行い、目標の再設定、取組の改善・重点化を行ってください。														

No.	016	—	3016	事務事業名	公園整備事業	公的関与	3
-----	-----	---	------	-------	--------	------	---

PLAN	課名	都市整備課	係名	公園係	電話番号	089-964-4412	メールアドレス	tosiseibi@city.toon.lg.jp						
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	全部委託	実施計画	該当	事業期間	令和4年度～令和7年度					
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	1 安心・安全な都市基盤の整備		主要施策	5 公園緑地の環境整備の促進					
	事業の目的	重信川河川敷公園等について、更なる認知度アップ、利用者の利便性の向上を図り、交流人口の増加に繋げるため。				根拠法令等	都市公園法、東温市都市公園条例							
	事業の手段	河川敷の有効利用及び、河川敷公園の魅力のアップが図れるよう、公園の整備を行います。				掲載計画								
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	最終目標				
		公園等の整備		整備対象公園等		箇所	目標 0	3	3	6				
							実績 0	3						
							目標							
							実績							
DO	活動内容	① 河川敷公園等の整備(実施設計・工事)			④									
		② 河川敷公園等の整備(実施設計)			⑤									
		③												
	予算費目	会計	一般会計			費目名	土木			費				
	直接事業費			令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	備考							
		国・県支出金		0千円	4,915千円	0千円								
		地方債		0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源		0千円	10,000千円	0千円								
		一般財源		0千円	0千円	45,000千円								
	計(A)		0千円	14,915千円	45,000千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.447人	2,839千円	0.700人	4,446千円							
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円							
全体事業費(A+B)		0千円		17,754千円	49,446千円									
CHECK・ACTION	一次評価者	公園係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
	必要性	重信川河川敷を活用した公園整備は市民生活の質的向上や交流人口拡大を図る上で有効であり、整備を行う際は必ず地元行政が主体的に関わる必要があります。												
	有効性	茶堂公園やかすみの森公園など、既存の公園はいずれも人気スポットとして市民に親しまれており、今後も継続的に整備に取り組むことで成果の向上が期待できます。												
	達成度	ドッグランなど新たな要素も加えることで好評を得ているため、目標に沿った状況になっていると思われます。												
	効率性	令和4年度は国の財源を有効活用し、市の財政負担の軽減を図りながら必要な整備が実施できましたが、今後の整備に向けた財源の確保は課題となっています。												
	当面の課題	市道前川堤防線や重信川かわまちづくりの整備に伴う、既存の公園及び、重信川河川敷の有効活用について、今後の利用形態などについて検討が必要です。												
	改革計画	河川敷の公園を一体的に整備し、完成後、多くの人々が気軽に利用できる公園、交流人口の増加に繋がるような河川空間を目指し、民間団体等の意見も聞きながら、魅力ある公園整備を進めていきます。												
	二次評価者	都市整備課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	2	今後の方向性	方法改善
	二次評価での指摘事項	魅力ある公園づくりには、利用者の意見が重要です。事業効果と財政負担とのバランスを取りながら、管理コストの低減に努めるとともに交流人口の拡大や地域の活性化に繋がる公園となるよう取り組んでください。												